

(95) 群馬県沼田市の戸神山鉱山跡

これも参考文献(1)を手引きに探査に出かけた。本探査記と文献(1)を併用すると理解が進もう。本鉱山は高速道路の関越道からあまり離れていないので、行きやすい。本鉱山は金鉱山として開発された。多くの金鉱山と同じく、これはという標本はなかなか採集できない。が、参考文献(1)で紹介しているような副次鉱物が採集できよう。

現地への経路は次の通りである。関越道を沼田ICで下車する。これから先は詳細に記述するのは難しい。要は、戸神山登山口へ行けばよい。図1、図2を参照するのも良い。又はカーナビがあればそれも良い。道路地図帳があればそれも良いであろう。とにかく戸神町に行く。戸神町に着いたならば、図2を参照する。戸神山山頂の南に、2つの神社記号が並んで記されている。その内の右側の神社が登山道中にある。従って、この神社を目指していくことになる。この神社への道は狭く、分りにくいかも知れない。神社への細道を上っていくと、右側に参拝者用の駐車場がある。ここに駐車し、歩いていこう。現地には、戸神山頂への登山道と共に、鉱山跡への道も案内してある看板がある。それも参考となろう。徒歩約30分ほどで、鉱山跡に行き着けよう。

探査日 2011年 7月、その他

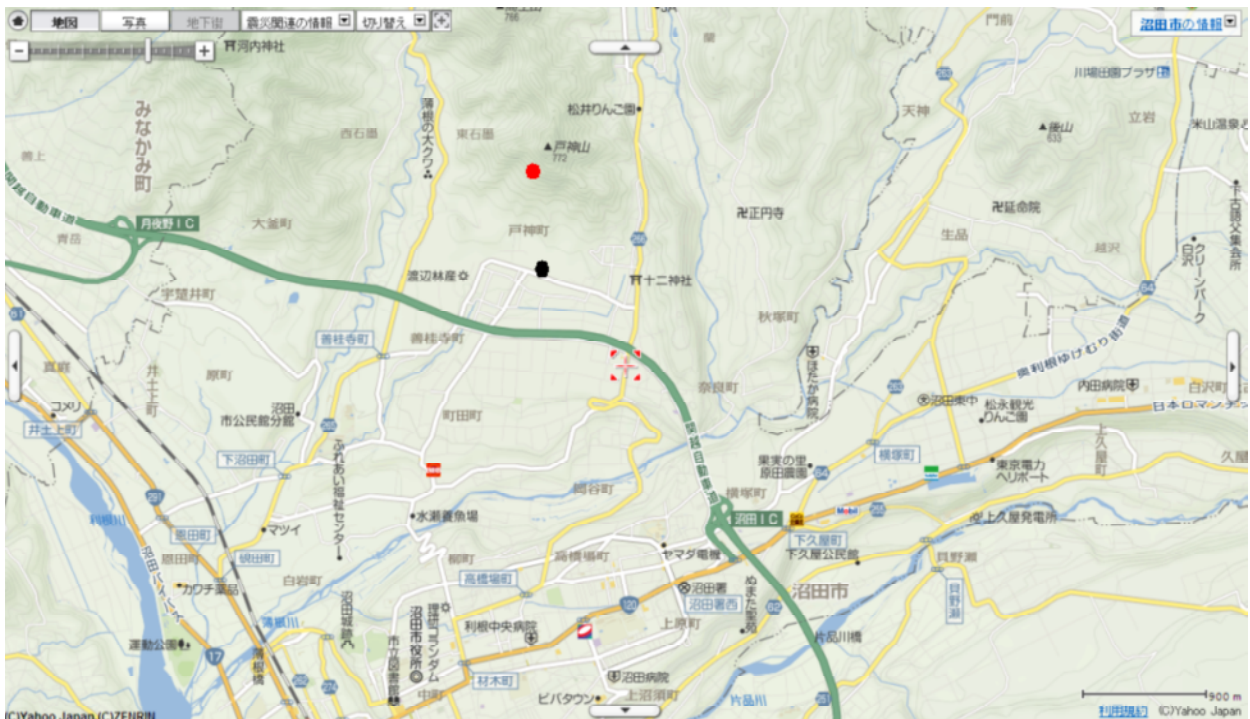


図1 Yahooの地図サービスより複写掲載。中央上部に戸神山がある。赤丸が鉱山跡。黒丸が戸神山登山口入口。

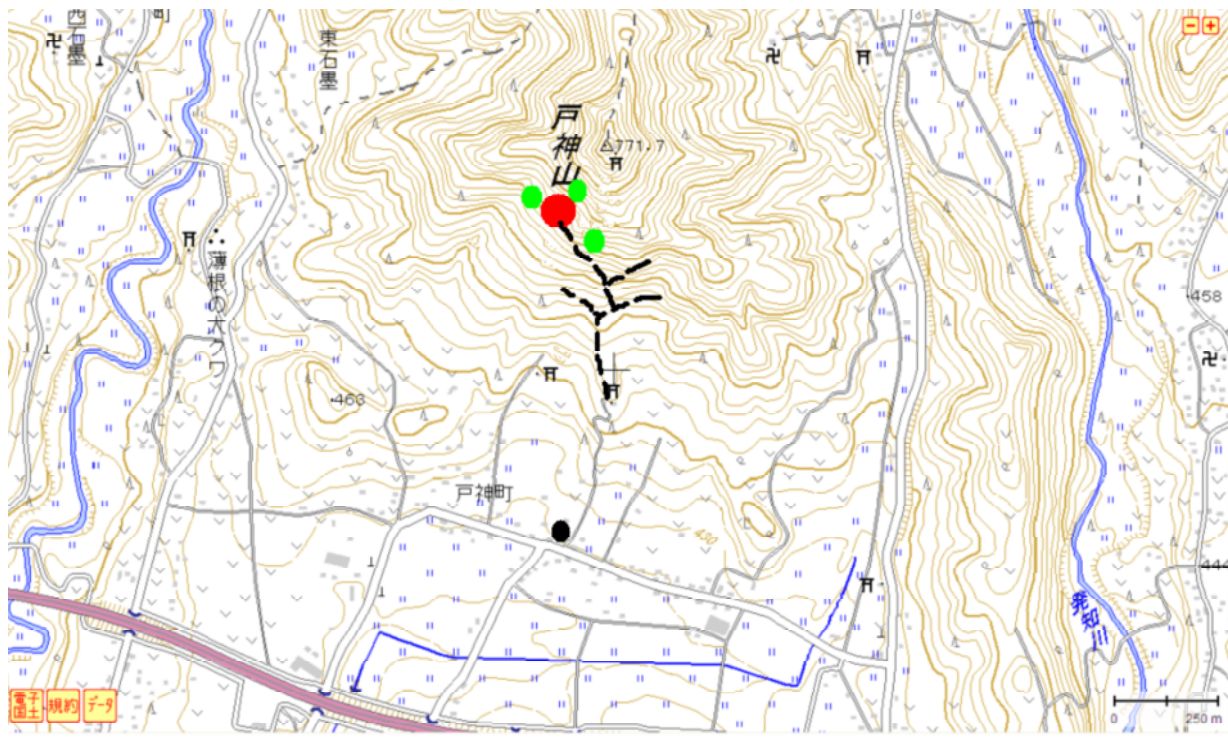


図2 国土地理院の地図サービスホームページより複写掲載。黒丸が戸神山登山口入口。赤丸が鉾山跡。黄緑丸が坑口跡。黒破線が大凡の林道。

鉾山跡写真



写真1 駐車場から登り始めると直ぐ先に鳥居がある。登山指導標もある。鳥居をくぐったルートがショートカットである。



写真2 指導標に従い、鉾山跡へのルートを進んでいった先、行き止まりに、狭くはない広場がある。鉾山跡広場である。



写真3 鉾山跡広場の上方、 $\Delta H = 20$ mの所にあった坑口跡。



写真4 鉾山跡広場を更に先に進んだ所に、岩塊があった。坑口跡もあった。岩塊には、露頭石英鉾脈が数十cmの幅で延びている。延びている方向は写真3の坑口跡方向と一致している。



写真5 途中にあった坑口跡らしい箇所。山腹の陥没箇所の両岸が石垣組となっている。道を挟んでの谷川にズリ跡らしいものはある。

採集鉱物写真

数個の紫石英、紫水晶は採集できたが、それ程の物ではないので未掲載。

参考文献

(1)「地球の鉱物コレクション イン・フィールド部門（福島県郡山市 安積石膏鉱山）」、デアゴスティーニ。隔週刊。